



病弱教育部だより

No. 5
平成25年3月

京都府立城陽支援学校 <http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

卒業、進級、退院を迎えて



3月8日、卒業証書授与式、3月19日、修了式で、平成24年度の諸行事も終了となります。今年度も本校の教育活動に御支援と御協力をありがとうございました。3学期は、小中学部合わせて10名でスタートし、中学部3年生の高校入試、小6、中3生は、卒業に向けた取組を行いました。本校での卒業は、中学部の1名でしたが、他の児童生徒も地域での卒業に向けて、文集は本校で仕上げ、卒業式は地域の学校で迎えました。

本校は、進級、卒業とともに「退院」が一つの卒業式です。学年末に、地域の学校にかえる児童生徒がほとんどです。一人ひとり退院の時期は違いますが、病院の治療と本校の学習でつけた力を地域の小中学校でも発揮してほしいと願っています。2学期に退院した児童の作文の一部を紹介します。

リハビリはつらいです。自立という勉強があるので驚きました。テストの点が小学校ではあまりよくなかったのに、ここの学校では点数がちょっとよくなりました。ロング自立が楽しかった。体重が11.5kg減ってうれしかった。そのためにリハビリやなわとびや体育を頑張った。トイレ掃除を友達と頑張った。3学期からは、小学校で勉強を頑張りたいと思います。がぶがぶ食べたらまたふとるのであまり食べないことに気をつけます。

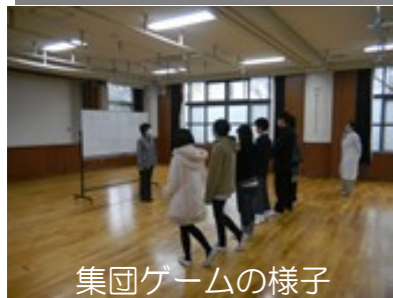
退院して地域の学校に戻っていく児童生徒が、決意を新たに頑張ってくれること、また先生方から、よい報告がいただけることが私たちの励みにもなります。

来年度は、入院前の相談や退院後のケアもさらに教育委員会や小中学校と連携していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

平成25年3月 病弱教育部総括主事 牛田 聖一郎

Click!

集団ゲームの取組



集団ゲームの様子

毎週水曜日の朝、自立活動の時間に小学生も中学生も先生も一緒に、15分間の集団ゲームを行っています。ゲームを楽しく行う中で、コミュニケーション力を高め、自己理解や他者理解を深めることを目的としています。

「どきどきカウント」「なんでもバスケット」「自己紹介ゲーム」「サッカーじゃんけん」等を行ってきました。



地域支援センター

「サポートJOYO」



地域の学校に戻られたあと、学校や御家庭でお困りのこと、気になることなどがありましたら、いつでも御相談ください。より良い支援の手段を一緒に考えましょう。



TEL 0774-53-7100 (城陽支援学校)
地域支援コーディネーター 玉村総枝・山崎雅美

新年度予定

- 4月1日(月) 離任式 10:00~
- 4月8日(月) 着任式・始業式
- 4月9日(火) 入学式 14:00~



教職員からのメッセージ

宇宙飛行士の星出彰彦さんの言葉を贈りたいと思います。「一度の失敗でくじけるな。大事なのは何度でも挑戦すること。」(宇宙飛行士の試験に二度落ちて、三度目でやっと受かった。二度目であきらめていたら、今の自分ではなかった、と。)長い人生、失敗はつきもの。七転び八起きで楽しもう。



中村 貴美子

「♪ 今 終わる ひとつのこと〜♪」少し古い歌ですが、この時期ふと思い出します。「ひとつ」終わる今、色々な出会いや思い出が一気によみがえり、私は1年で一番感傷的になります。思い出があるから次に行ける。ひとつ終わり、また新しい「ひとつ」が始まるのです。みなさん、いい思い出をありがとう。



東出 英里



「♪ 明日があるさ〜明日がある〜」私の好きな歌の一つです。これからも失敗したり、困難にぶつかったりしても、今日のことはよくよせず

「明日があるさ」でいろんなことに挑戦してほしいと思います。

「♪ いつかきっと〜」乗り越えられて成功する 때가くると思います。

赤井 克正



入院生活でさみしい思いをしたことも多かったと思いますが、みんな自分の課題に向かってよく頑張りました。今後とも、心身の健康に十分気をつけながら、しっかりとした目標をもち、一步一步着実に歩んでください。

浅井 孝司



病弱教育部の仲間に出会って、友だちのことを知り、自分のことを知り・・・学校の勉強以外に、たくさん学習したと思います。共感しあえる本当の友達との出会いを大切に、地域の学校に戻っても、また、みんなに会いに来て下さいね。

玉村 総枝



「♪野に咲く花のように風に吹かれて野に咲く花のように人を爽やかにしてそんな風に僕たちも生きていけたらすばらしい♪」

人を爽やかにそして人を和やかにする花のようにこれからも生きてください。

円山 正子



すばらしい力をたくさん持っているのに、自分自身に戸惑っている君たちを何度も見てきました。自分をかえることは簡単ではないけれど、不可能ではありません。自分の気持ちと向き合いながら、これからも、いろんな事にチャレンジしてください。応援してるよ。

荻野 泰弘



私の目元には「泣きぼくろ」があります。このぼくろがある人は泣き虫なんだそうです。本当に、私も泣き虫でした。

でも今は全部笑って思い出せます。つらいこと、悔しいことがあっても、笑えるようになる日は来ます。その日まで元気に暮らしましょう!

澤田 千夏

人生の中で、本当に信頼できる、大切な出会いって、いつやってくるかわかりません。出会っていても気づかないで過ぎていくこともあるかもしれません。でも、その一つ一つが自分の成長に力をくれるような出会いであればいいなあって思います。これからも、そんな出会いを大切にしてくださいね。

山崎 雅美



病弱のみなさん!たくさんの思い出をもってこれからは外の世界へ。いろんな人に出会い、いろんなことを経験して楽しんで人生を歩んでください。時にはふわ〜んと頭をからっぽにしてみよう。

四方 圭子

